謹賀新年　子年の2020年が明け

正月とはいえ、昨年秋からの消費税10%がズシリと効いてきたのか、景気は、米中の貿易戦争や韓国との対立もあり、暗く、重たいものにみえる。

昨年、当組合は結成50周年を迎え記念大会をすごしました。

ひとくちに50年といっても、ほんとうにいろいろなことがありました。労働者もこの街もいま激しく様変わりしています。

こうした中で建設の日雇労働者の生活と権利のための活動を継続してきました。

今年も51年目の活動。「激動の令和」の闘いを「ちいさな力」ではありますが持続していきますので、よろしくおねがいします。

2020年　新春

大阪城

2020
1/6(月)
14:035

全港湾
西成分会

ゼンカ
6647-
4947

政治も、ほぼ今年中には、衆議院解散、
総選挙になり、安倍政権も終り、大きな
転換期を迎える。米中対立の背景には、
中国はじめ韓国、北朝鮮など大陸国家の
地政学上を含めた前進、発展があり、アメリカの
覇力の相対的没落がある。トランプのような
変り者の登場はその左証でもあるだろう。
6月には、5千億円以上かけての新なにわ筋線の
地下鉄工事が始まり、11月には、大阪市をなくして
しまう是非を問う住民投票があるとこう。
夏は、熱中症、猛暑の中、オリンピックや
パラリンピック。温暖化で異常気象、台風も
やってきそう。身体をだいじにして資本として大切に
しながら転換期の2020年を生きぬいていこう。

1970年の「大阪万博」から50年。2025年に「2匹目のどじょう」を狙って「夢洲」で2度目の「大阪万博」が開催される。

50年前全国から労働者を呼び寄せるために作られた「あいりん総合センター」、歴史的役割を終えたとして「耐震不備」を口実に閉鎖され解体され、4～5年先に現在地の南方に縮小されて再建されるという流れになっています。いろんなことが劇的に変わっていきそうです。